

2022 年度地域活動事業部全国リーダー研修会報告

日時：2023 年 2 月 3 日（金）13：00～17：00

会場：Web 会議

1.開会のあいさつ

（公社）日本栄養士会の地域活動職域将来ビジョン「基本理念」と「基本方針」について（公社）日本栄養士会地域活動事業部推進委員会の佐野ちえみ委員長より説明があった。

2.事業報告

1) 2022年度事業報告(案)について

- ・予定通り開催

2) 2023年度事業計画(案)について

- ・栄養ワンダーは2023年6月～8月オンライン開催予定
- ・全国栄養士大会は2023年6月28日～9月3日オンライン開催予定
- ・全国リーダー研修会は2024年2月3日(土)にWeb開催予定
- ・第39回公衆栄養活動研修会は2023年11月25日(土)に集合開催予定(会場は未定)
- ・ブロック会議は2023年10月28日(土)Web開催予定
- ・「日本栄養士会雑誌」管理栄養士の活動最前線 掲載

3.基調講演「管理栄養士・栄養士の地域での活動と役割」

（公社）日本栄養士会 代表理事副会長

鈴木 志保子氏

1) (公社)日本栄養士会の役割について

管理栄養士・栄養士を必要とされる場に配置するために、政策を提案して活動していくことが(公社)日本栄養士会の役割になる。

また、(公社)日本栄養士会のすべきことは人材育成である。養成校で学んだ知識をベースにして、実務研修や生涯教育を受講することにより、足りないものや最新情報を得ることができる。他にも認定制度があるので専門分野で自分を表現することも大切である。

2) 地域リーダーのやるべきこと

会員のスキル向上を目指し、管理栄養士・栄養士の価値を高めることを(公社)日本栄養士会と連携する必要がある。また、栄養ケア・ステーションを充実させ、もっと良くするために尽力することが大きな役割になる。

3) トピック

中学校の食育教材が昨年3月に変わった。「バランスの良い食事」ではなく、「なぜ食べなくてはいけないのか」を説明するようになった。このことにより、身体が行いたい化学反応ができるように材料を提供するためと理解してもらうことが重要である。

4) 国民の食生活の変化について

調理する割合の減少と食事量の減少等、今までとは違う傾向にある。対象者にあった食事方法を提案して実行することによって、個人の自己実現に寄与することになる。私たちはエビデンスを個人にアレンジして活用し、今後の活動をしていかなければならない。現状は厳しい風が吹いているが、未来を見据えて頑張りましょう。

4.挨拶

（公社）日本栄養士会 職域統括事業部部長

長原 純也氏

医療や介護の取り巻く環境が大きく変わってきている。超高齢化社会で疾患を持った方への対応やAIによるデータヘルス改革によって保健、介護、医療を統括してデータ管理していくことが推進されている。また、地域包括ケアシステムにより、地域で自分らしく生きていくことに焦点が集まってきている。そうすると、医療現場と介護現場の栄養士と地域栄養士の連携が重要である。

（公社）日本栄養士会を強固なものにしていくことによって、国民の幸せに繋げていけるので、今後とも日本栄養士会の活動にご意見とご協力を賜りたい。

5.事例発表

1) 「一つ先を見据えて」

(公社) 神奈川県栄養士会 地域活動部会

石川 裕子氏

- ・魅力ある情報提供ができるように、ちょっと先を見据えて研修会のテーマを考えている。
- ・コロナ禍で活動できなかった時にフレイル予防の媒体制作をした。
“フレイルおじいちゃんマン”が高齢者に役立つフレイル予防のポイントをわかりやすく説明している。

2) 「大阪府の情報発信について～大阪府地域活動栄養士会との情報共有と個人会員の対応～」

(公社) 大阪府栄養士会 地域活動部会

清水 詩子氏

- ・情報交換会を年1回開催している。事前アンケートを各グループ代表へ配布し、実施内容や新たな取り組み、他のグループに聞きたいこと等を回答してもらい討議している。
- ・会員増対策として、(公社)大阪府栄養士会ホームページに「仲間探し」のコーナーを設置し、大阪府下で活動している地域活動栄養士会の紹介をしている。

3) 「愛知県栄養士地域活動部会がめざすもの

～温故知新と自分の強みを持つ～

(公社) 愛知県栄養士会 地域活動部会

山本 和恵氏

- ・組織の強化に向けて、同世代と若い世代との意見交換をし、新旧運営委員の交流の場を設けて栄養士会の継承を試みている。
- ・地域活動部会の研修会は、会員のスキルアップの場であり、各職域で必要な最新情報を学ぶ場として「スキルアップ勉強会Chikatsu」を発足し、実践報告の練習の場としている。この成果を日本栄養改善学会、日本食育学会、愛知県栄養士会研究会で実践活動報告して、会員自身の強みになることを到達目標にしている。

6.グループワーク・意見交換会

テーマ：①リーダーとしての心構えについて

②リーダーとしてこれからの情報伝達について

③地域活動(フリーランス)で今、必要なもの

上記の内容について、地域別ではなくランダムに分かれた7グループで意見交換をして発表を行った。全国リーダーと話し合いをする機会となり、とても刺激になった。今後の活動に役立てたいと思う。

(文責 地活 清水詩子)